

授業科目名： 動物基礎医学特論 C（東京農工大 学）		単位数 2 単位	担当教員名： 教授・准教授・講師
			担当形態： 単独
配当年次： 2 年次後期	授業形態： 講義科目	開講形態： 第 2 副指導教員によるゼミナ ール形式	
授業のテーマ及び到達目標： 講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がり と深さを持つ知識と技術を教授し、博士論文の作成を支援する。			
授業の概要： 獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関して、動物基礎医学講座に所属する第 2 副指導教員 の専門的知識を、研究テーマとは直接の関連はない講義科目群として設置。			
授業計画： 動物基礎医学講座に所属する指導教員の専門の研究分野について、ゼミナール形式で討議を行う。 以下のとおり、博士論文の研究テーマには直接は関連しない研究分野の文献収集・調査方法の指導、 研究の進捗状況・成果に対する質疑応答及び博士論文のプロポーザル作成指導を行う。の ことを通じて、研究テーマ以外の獣医学に関連する諸問題を分析、評価する能力を養う。 ①講義や演習を補完するような課題文献を指定し、それを読みディスカッションのう えにレポートにまとめるなどのアドバイスと指導を行う。 ②研究テーマとは異なる諸問題に関する情報やデータの収集を指導する。 ③学会発表等での発表に対する準備を指導する。 ④研究プロポーザルの作成を指導する。 (柴田 秀史) 中枢神経系、大脳皮質、視床、神経トレーサー、肉眼解剖学 (渋谷 淳) 発がん、神経毒性、神経発達障害、リスク評価、動物実験モデル (渡辺 元) ホルモン、生殖器官、中枢神経系、飼料添加物、ストレス、内分泌攪乱 (小山 哲史) 動物行動、行動生態学、社会性、血縁選択、適応度 (佐々木 一昭) 薬物動態、薬物代謝、経口吸収、HPLC、がん治療 (佐藤 俊幸) 至近要因、究極要因、包括適応度、血縁選択、社会行動			

(鈴木 和彦)

病理、疾患モデル、線維化、腎臓

(永岡 謙太郎)

ホルモン調節、妊娠認識、遺伝子調節、アミノ酸代謝、細胞分化

(吉田 敏則)

脂肪肝、大腸炎、肺線維症、COPD、貧血、がん

テキスト：特になし

参考書・参考資料等：特になし

学生に対する評価：受講状況と態度、ならびに講義内容の理解度などにより総合的に評価する。